

展示室1bc ここではないどこかへ 美術にみる「理想郷」

2024年7月9日(火)から9月8日(日)まで

美術家は作品の創造を通じて、美や真理、自分の抱く世界観や死生観に向き合い、その表現を追求してきました。心が揺さぶられる作品には、化学や人間の合理的精神だけでは解明できない「何か」が秘められているように思われます。日常生活の背後に潜むもの、現象界を超えた永遠の存在-それぞれの作家にとっての「理想郷」を探ります。

作家名	生年-没年	作品名	制作年	技法、素材
さじ だし 佐治 賢使	1914-1999	ドライブウェイ	1971	さいしつ 彩漆
つちや よしのり 土屋 順紀	1954-	もんしやきれじ 紋紗裂地	1999-2010頃	かさり 絹、紋紗、紺
しんえ みさこ 新恵 美佐子	1963-	うみ ようらん 海の揺籃	2009	画布、墨、顔料、アクリル
かとう りょうぞう 加藤 良造	1964-	さんすいきょう 山水境	2014, 2015	和紙、墨、顔料、岩絵具、 ^{にかわ} 膠
はせがわ よしひさ 長谷川 喜久	1964-	りょくいん しろ 緑韻に白く	2022	紙本着色
さかもと いつき 坂本 一樹	1966-	The Beginning	2005	水彩紙、オイルパステル
		そら 宙 — I AM	2013	和紙、岩絵具、膠
はやしん 林 真	1972-	ふゆ ちよう 冬の蝶	2014	和紙、岩絵具、膠
おかむら ともはる 岡村 智晴	1984-	こも び 木漏れ日	2017	和紙、岩絵具、顔料、銀箔、 アルミ箔
はっとり 服部 しほり	1988-	てんぼ き 展墓記	2017	和紙、墨、胡粉、顔料、岩絵具、膠